# 消防宝塚

発行所
宝塚防火協会
宝塚市伊孑志3丁目14番61号
宝塚市消防本部内

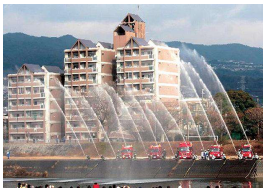

火事と
救急・救助は
局番なしの
**119**番へ

## 令和7年 宝塚市消防出初式を挙行

令和七年一月十二日(日)、宝塚市立中央公民館ホールにおいて、宝塚市消防出初式を挙行し、令和六年中に功績のあった消防分団、消防職・団員に対し、山崎市長、藏本消防団長及び髙橋消防長からそれぞれ表彰状が贈られました。

宝塚防火協会の栗原会長は、消防職・団員に対して「この出初式を契機として、市民の深い信頼と厚い期待に応えるため、決意を新たに御活躍されることを祈念いたします。」との祝辞を述べられました。

また、式典と並行して末広中央公園内で車両展示を実施し、式典終了後には、消防職・団員による一斉放水を実施しました。



◎宝塚市長表彰
《優良消防分団》
東部分団
《優良消防団員》
波豆分団
団員　乾　道春　外十名
◎消防団長表彰
《優良消防団員》
西部分団
分団長
福中　竜成　外十名
◎消防長表彰
《消防優秀賞》
東消防署
消防司令補
小島　友樹　外三名
《永年勤続賞》
東消防署
消防司令
向井　昭仁　外四名
（敬称略）

## 令和六年度 宝塚防火協会表彰式

令和六年十月十一日(金)、宝塚防火協会常任理事会の席上において、令和六年度宝塚防火協会表彰式を執り行いました。この表彰は、市内の火災予防等に顕著な功績のあった事業所、団体及び個人を表彰させていただくものです。

### 受賞者一覧

一　優良防火対象物の部
㈠　オージェイケイ株式会社　様
㈡　株式会社エクセレントケアシステム　介護付き有料老人ホーム　エクセレント花屋敷ガーデンヒルズ　様
二　優良危険物事業所の部
株式会社ＥＮＥＯＳフロンティア　関西直営事業部　Dr. Driveセルフ宝塚さかせ店　様

三　優良防火管理者の部
㈠　社会福祉法人　晋栄福祉会　介護老人福祉施設　宝塚ちどり　阪上知之　様
㈡　医療法人社団　六心会　介護老人保健施設　エスペランサ　上林　孝行　様
四　優良危険物取扱者の部
㈠　伊丹産業株式会社　セルフ安倉給油所　真瀬貴通　様
㈡　有限会社宝塚石油　宝塚給油所　平田　武　様
五　特別表彰
㈠　宝塚光明住宅自治会　自主防災会　様
㈡　シャルム中山寺自主防災会　様

## 令和六年度 防火啓発ポスターコンクール

宝塚市消防本部では、宝塚防火協会協賛のもと、「令和六年度防火啓発ポスターコンクール」を実施しました。市内小学校の児童から応募していただいた九十二作品から高学年の部及び低学年の部の「最優秀賞」に選ばれた増田一瑠さん（市立西山小学校五年）、加藤晄崇さん（雲雀丘学園小学校三年）の作品を、防火啓発に役立てるため防火ポスターとして印刷し、市内の各事業所様へ配布し掲出を依頼しました。

増田（ますだ）　一瑠（いちる）さん（市立西山小学校５年）

加藤（かとう）　晄崇（てるたか）さん（雲雀丘学園小学校３年）

## 令和6年 火災・救急・救助概要・119番受信件数

令和６年中、宝塚市内で発生した火災・救急・救助概要、１１９番受信件数について取りまとめました。

◆火災概要
火災件数は、26件発生し、前年と比べ４件減少しました。
火災種別ごとでは、建物火災は14件で前年と同件数、林野火災は０件で前年と比べ２件減少し、車両火災は７件で前年と比べ１件増加、その他の火災は５件で前年と比べ３件減少しました。

◆救急概要
救急件数は、13,997件で、前年と比べ290件の増加であり、一日平均38.2件の割合で出動したことになります。
種別ごとでは、最多が急病で9,197件、次いで一般負傷が2,789件、交通事故が691件となります。

◆救助概要
救助件数は328件で、前年に比べ８件減少しました。救助活動件数は268件で前年より２件減少し、救助人員は218名で23名増加しました。事故種別ごとの救助出動件数をみると、建物等の事故が多く発生しています。

◆１１９番受信件数
火災・救急・救助・その他の要請など、令和６年の１１９番受信件数は19,220件で、前年と比べ261件減少しました。

## 令和七年 春の全国火災予防運動及び山火事予防運動

三月一日(土)から三月七日(金)までの七日間、全国一斉に「春の全国火災予防運動」が実施されます。

季節が移り変わるこの時期は、空気が非常に乾燥し、強い季節風等により火災が発生すると拡大しやすい時期です。このため、市民一人ひとりがより一層防火の重要性を自覚し、日常生活での防火対策を実践するために、住民、事業所の関係者に強く防火意識の向上を呼び掛けることを目的として火災予防運動を実施します。また、これらの期間中、「住宅防火　いのちを守る　10のポイント」を重点目標の一つとして掲げ、広報物の配布やホームページ、ＳＮＳなどのインターネット媒体を活用した火災予防広報を実施します。

さらに、この時期は気象条件等から山火事が発生しやすい時期となります。山火事が発生すると消火活動に時間を要し貴重な森林資源を失うとともに、その森林機能を回復させるために多大な時間、費用、労力が必要になります。このため、宝塚市では、火災予防週間と同じ期間中に「山火事予防運動」を合わせて実施します。

### 住宅防火　いのちを守る　10のポイント

**4つの習慣**
- 寝たばこは　絶対しない　させない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- こんろを使うときは火のそばを離れない
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

**6つの対策**
- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

### 2024年度　全国統一防火標語

「守りたい
未来があるから
火の用心」

## 令和6年度 宝塚防火協会会員視察研修

令和六年十一月十五日(金)、北淡震災記念公園野島断層保存館にて、宝塚防火協会会員視察研修を実施しました。

施設支配人による講話を聴講したのち、阪神・淡路大震災を被災した建物や当時の状況を記録した資料などを見学しました。

近年、地震による災害が頻発し、今後も大規模な地震災害が懸念されているなか、災害に対する備えの重要性を学ぶことができ、防火防災意識の向上を図ることができました。

# 機動救急隊を発隊

令和六年十月一日（火）、異常な猛暑や高齢化の進展などにより年々高まる救急需要に対応するため、救急要請が特に多い平日の日中に限定して活動する「機動救急隊」を発隊しました。

これまで救急隊員は、二十四時間勤務の二交代制で勤務しておりましたが、平日九時から十七時三十分までを勤務時間とし、新たな勤務形態を導入することにより働き方の多様化にも対応しています。

## 令和六年度 宝塚市消防団林野火災防ぎょ訓練

令和六年十一月十七日（日）に令和六年度宝塚市消防団林野火災防ぎょ訓練を実施しました。午前七時に宝塚市消防団十分団が、それぞれの分団庫から火災想定場所である西谷の森公園へと出動し、団本部による現場指揮のもと様々な資器材を使用し、実戦的な林野火災の消火活動訓練に取り組みました。

## 大規模店舗に対する年末特別巡視

令和六年十二月三日（火）、年末で商品や在庫を多く抱える大規模物販店の防火管理、消防用設備等の維持管理状況を確認するため「ダイエー宝塚中山店」にて、消防長特別巡視を実施しました。

今回は、特に避難経路の維持管理状況を確認し、来客者と従業員にとって安全が確保された施設であることを確認することができました。

## 阪神競馬場仁川寮における警察消防合同訓練

令和六年十二月十九日（木）、大規模災害対応能力の強化並びに関係機関との連携強化を図ることを目的に、地震を想定した実践的訓練を兵庫県警察本部と合同で実施しました。

訓練場所は日本中央競馬会阪神競馬場様のご厚意により、解体予定の仁川寮を提供していただき、鉄筋コンクリートの破壊技術であるブリーチング、鉄扉の切断等の座屈建物内への進入技術及びローブレスキューの想定訓練を実施するなど、実際の建物を活用した有意義な訓練となりました。

## 消防フェスタ2024を開催

令和６年９月21日（土）、東消防署及び東公民館の庁舎を利用して、「消防フェスタ２０２４」を開催し、約750名の方に来場していただきました。

今回の消防フェスタでは、消防車両や消防庁舎内の見学、消防資器材やＡＥＤの取扱い体験、救助訓練の見学などを行い、消防行政について広く理解を求めるとともに、市民の防災意識の高揚を図ることができました。

## 令和六年度 実戦操法競技会

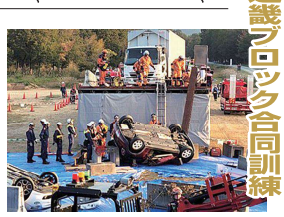
令和六年十月二十九日（火）、実戦操法競技会を宝塚市消防訓練場で実施し、六小隊二十四名の隊員が日頃の訓練成果を披露しました。本競技会は、「鉄骨造二階建住宅、二階部分から出火、逃げ遅れは不明」という想定で、安全・確実・迅速を基本に防火衣着装訓練、車両走行訓練及び消火訓練を行い、消防活動の技術の向上を図ることができました。

## 令和六年度 宝塚市女性防火クラブ視察研修

宝塚市西消防署では、株式会社モリタ三田工場及び株式会社コーアツ三田工場にて、宝塚市東消防署では、同じく株式会社モリタ三田工場及び新コスモス電機株式会社において、女性防火クラブ視察研修を実施しました。

今年度の研修では合計五つの女性防火クラブ員の方が参加され、消防車両の特性や消火設備・警報設備の仕組み等を学ぶことができたほか、各クラブ員間の親睦を深め、防火意識の高揚を図ることができました。

## 令和六年度 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練



令和六年十月二十六日（土）から二日間にわたり、京都府福知山市、舞鶴市及び綾部市における大規模地震により、甚大な被害が発生した想定で、緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練が実施され、本市からも救助小隊五名、特殊装備小隊（重機）三名が参加しました。本訓練では、六百名を超える緊急消防援助隊のほか、自衛隊、警察、国土交通省、医療機関など多数の機関が参加し、各機関の連携強化及び活動能力の向上を図りました。

## 令和６年度 文化財防火デーに伴う消防訓練及び特別査察の実施

宝塚市消防本部では、令和七年一月二十六日（日）の文化財防火デーに伴い、宝塚市内にある重要文化財において、消防訓練及び特別査察を実施しました。

文化財防火デーは、昭和二十四年一月二十六日に世界最古の木造建造物である法隆寺で火災が発生し壁画が焼損したことを契機として定められました。毎年、地域の自主防災会の方々と合同で消防訓練を実施し、文化財の保全に努めていただけるように日ごろからの防火に対する意識の向上を図りました。また、特別査察により災害に対する備えの重要性について説明し、建物、消防用設備等の維持管理状況を確認しました。